

# 画論 25th The Best Image 参加報告

NTT 東日本札幌病院 金山 智博

2018年1月27日(土)においてキヤノン株式会社 本社で開催されました、画論 25th The Best Image の上位入賞施設によるディスカッション及び、表彰式に参加させていただきましたので、報告をさせていただきます。

私は画論への参加は今回が初めてで、病院としては2012年の参加以来5年ぶりとなりました。私の放射線技師としての経験年数は4年ほどとまだ浅く、そんな自分が著名な方々の前で発表ができるのかと、本番の2カ月前から不安な気持ちがあった反面、上位入賞施設に選ばれたという喜びもありました。

前日に新千歳空港から羽田空港へと移動しましたが、天候に恵まれなく大雪暴風となってしまう、結果的に予定時刻より約2時間も遅れてやっと東京に着くことができました。(その次の便が欠航になったことを考えますと不幸中の幸いでしょうか)

道外での口述発表は初めての経験で、そのうえ全国のご施設の上位入賞者の方々と肩を並べての大会ということで、発表練習もいつも以上に行い、なるべく発表中に詰まることのないように準備をしておりました。発表の症例が遊走脾ということで、あまり聞きなれない症例であるため、それについての説明もどう盛り込むか、とても悩みながらのスライド作成となりました。

発表後、質疑応答時に審査員の先生より作成した画像に対して高評価のコメントを頂き、とてもやりがいを感じました。結果は、惜しくも最優秀賞までは手が届きませんでした。賞の名目がインプレッシブ賞と書いており、今回の当院の症例画像にとってはたしかに言い得て妙な賞だと思っております。このように特別賞という形で自分の作成した画像が評価されることは放射線技師として非常に誇り高く思えることですし、今後の仕事のモチベーションアップにつながっていくと感じております。

今回、画論 The Best Image という非常に貴重な発表の機会を与えてくださいましたキヤノンメディカルシステムズの方々に深くお礼を申し上げます。来年以降も最優秀賞を取れるように頑張っていきたいと思っております。

